

明日も元気で来いよ！

1学期 ご協力 ありがとうございます

早朝には、蝉の声がにぎやかに聞こえてきます。明日から「夏



休み」です。

保護者、ならびに地域の皆様には、1学期中、色々な面で、ご支援、ご協力いただき、ありがとうございました。

特に、今学期は、校舎増築工事に伴い、通学路の一部変更など、子ども達の通学に関しまして、たくさんのご協力、ご支援をいただきました。旗当番や見守り活動など、皆様のおかげで、子ども達は、安心して登校できました。この場をお借りして、あらためてお礼申し上げます。また、学校の教育活動にも、多大なご理解とご協力をいただきました。重ねてお礼申し上げます。

事故に注意して 元気で有意義な毎日を！！

いよいよ明日から夏休みに入ります。

本校区は、大きな道路があります。また、すぐ南には、川沿いに整備されたきれいな公園があり、水の事故も心配です。休み中、交通事故や水の事故等に注意して、元気で有意義な毎日を過ごせますよう、各ご家庭でよろしくお願いいたします。

また、夏休みは、運動や学習などのほか、掃除や水やりなど、家事の手伝いを継続して実行するチャンスです。何かひとつでも、お子様に決めさせて、責任をもってやり遂げるような経験をさせたいものです。そして、そのことを思い切りほめてあげてください。



このような経験を通して、子どもたちに、自分が、家族の一員として役に立っているという気持ちをもたせたいと思います。そのことが、子どもに自信をも

たせ、何事にも意欲をもって取り組む子どもを育てることにつながります。

さらに、本校区では、天神祭をはじめ、ラジオ体操や菅南・西天満祭など、地域、PTA、子ども会等の皆様が主催される多



くの行事があります。いろいろな行事に積極的に参加してほしいと思います。

地域に貢献できる人材に

自分が生活する地域の様々な行事に参加することで、地域への愛着や誇りが芽生えてきます。また、その中で、催しの成功や子どもたちの笑顔のために、汗を流してくださっている地域や保護者の皆様の姿にふれることも大切です。その経験を通して、この地域を守り、伝統行事を引き継ぎ、担う人材となってくれることを願っています。

今年から2学期の始業式が8月25日となりました。例年より夏休みが、1週間短くなりました。その分、一日一日を大切に、有意義な毎日を送ってほしいよう、願っています。

では、「2学期も 元気で来いよ！」

～いのちの授業～ いのち=自分のもっている時間

日野原重明（ひのはら・しげあき）さんが、105歳で亡くなりました。日野原さんは、聖路加国際病院名誉院長で、100歳を過ぎても現役で医師を続け、「生きかた上手」などの著作や講演で広く知られていました。

以前、日野原さんが、小学校で「いのちの授業」をされたという記事を読みました。その時のメモを紹介します。

・・・自分の持っている今の時間を誰かのために使うことは、君のいのちを使うことと同じ。いのちというのは、君たちが持っている自分の時間のこと。だから、自分の時間を大切にすることは、いのちを大事にすること。自分のいのちを大事にすること。そして、その時間であるいのちを何のために使うかよく考えてほしい・・・。

今、この瞬間、この時間を生きることは、自分のいのちを生きること。だからこそ、今、この瞬間、この時間を大切に生きてほしい。そして、その時間を自分以外のために使える人になってほしい。日野原さんは、そんなことを子ども達に語りかけておられました。

いのちの大切さ、時間の使い方・・・考えてみてほしいです。